

組付要領書及び部品表

Takakita

ブランドキャスト[®] 用

日農工特4Pオートヒッチ A形キット

BS-A-3

適応機種 BS5311SS
 BS5311TS
 BS5311SW



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**ブレンダーキャスタ用日農工特4PオートヒッチA形**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。また、ご使用前にはブレンダーキャスタ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

オートヒッチの組付け

BS-A-3

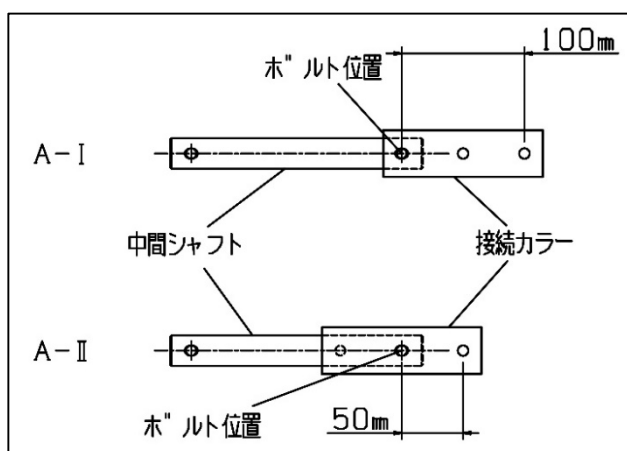
日農工特4PオートヒッチA形用部品

日農工特4PオートヒッチA形をお持ちのお客様は、下記の部品を組付けていただくとオートヒッチで本機の着脱ができます。

◆組付ける前に

特4PオートヒッチA形には、A-IとA-IIのタイプがあり、接続カラーと中間シャフトの組付け位置が異なりますので、ご注意ください。

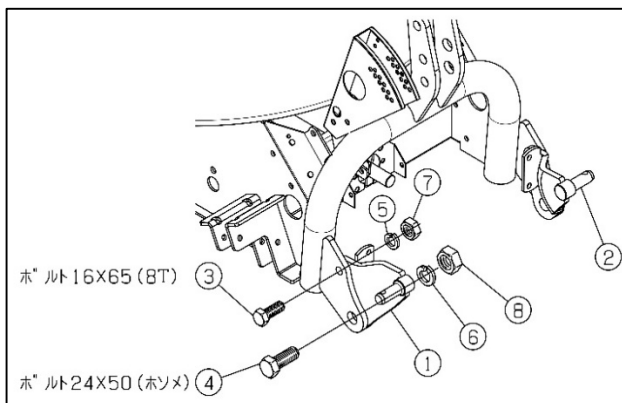
●接続カラーと中間シャフトの組付け位置



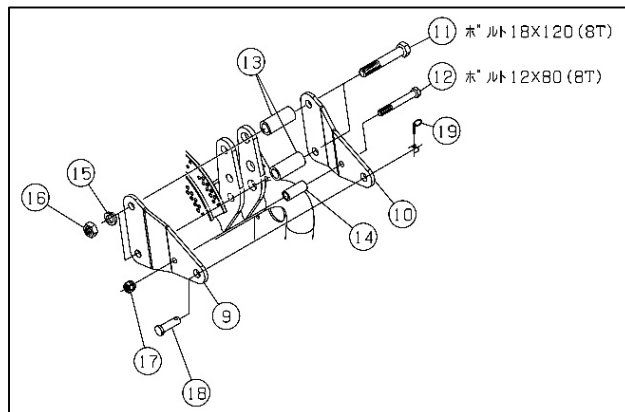
◆組付け手順

[1] フレーム関係の組付け

(1) ①②ローリンクブラケット(右・左)を③④ボルトと⑤⑥バネザガネ(16、24)と⑦⑧ナット(16、24)を使用して本機フレーム側のブラケットの内側に組付けてください。

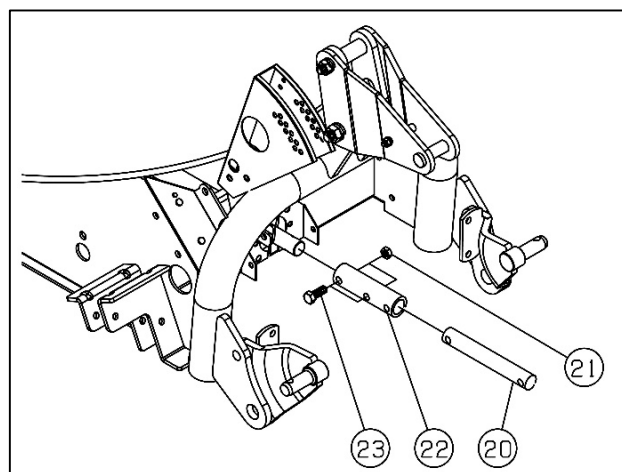


(2) ⑨⑩トップリンクブラケット(右・左)を本体フレーム側のトップリンク部の外側に⑪⑫ボルト⑬⑭カラー、⑮バネザガネ18、⑯ナット18、⑰スプリングナット12で左右組付けてください。⑱アタマツキピンは⑲リンチピンで止めてください。

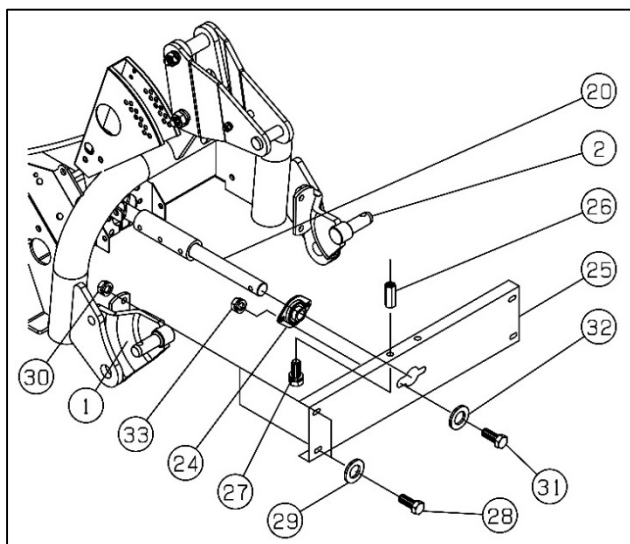


[2] 軸関係の組付け

(1) ⑳中間シャフトを本機側の入力軸と㉑接続カラーで連結し、それぞれを㉒ボルト8×50(コガタ・8T)、㉓ナイロンナット8(コガタ)で固定します。



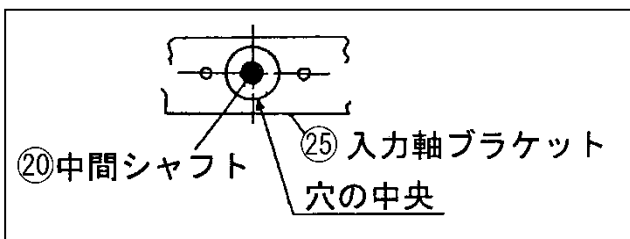
(2) ㉔入力軸ブラケットに㉕高ナット8×15を㉖ボルト8×12(コガタ・2P)で組付けた後、㉗ボルト10×25(8T)、㉘ヒラザガネ10、㉙スプリングナット10で①、②ローリンクブラケットに組付けてください。次に、㉚中間シャフトに㉛ベアリングを通し、㉜ボルト8×20(コガタ)、㉝ヒラザガネ8、㉞スプリングナット8で仮組みしてください。



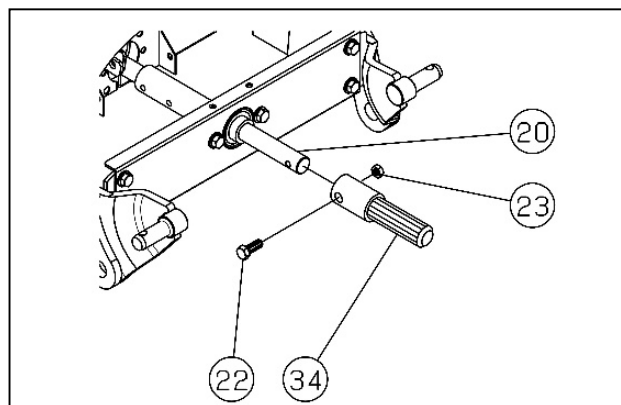
- (3) ②⑩中間シャフトと②⑤入力軸ブラケットの芯が合っていることを確認し、ベアリング固定の③①ボルト8×20(コガタ)、③②ヒラザガネ8、③③スプリングナット8を締め付けてください。

注意

②⑩中間シャフトを②⑤入力軸ブラケットの②④ベアリングに組み込む時は、②⑩中間シャフトがフレームの穴の中央で組付けられていることを確認してください。②⑩中間シャフトがずれたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。②⑩中間シャフトがフレーム穴の中央に組付けられないときは当社営業所までご連絡ください。

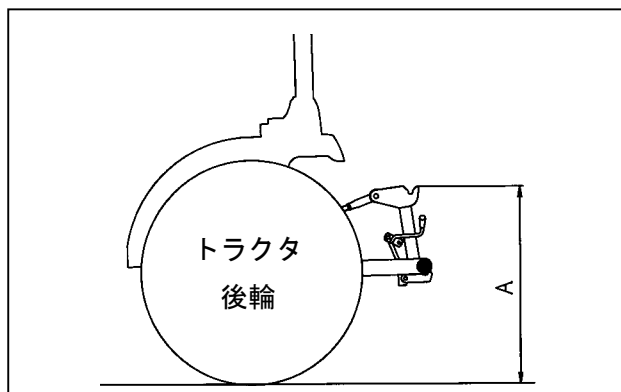


- (4) ③④スプラインシャフトを②⑩中間シャフトへ差し込み②②ボルト8×50(コガタ・8T)、②③ナイロンナット8で組付けてください。

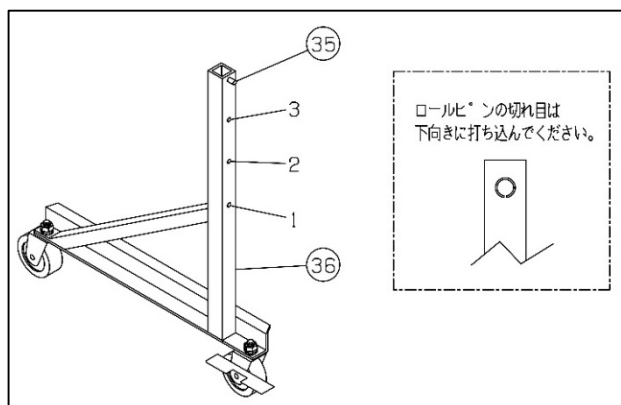


[3] スタンドの取付け

スタンドの高さは、三段階に調整できます。トラクタに装着されているヒッチの最下げ時、地面からの高さAを測定していただき、次表を参考に回り止めの③⑤ロールピンφ10×65を③⑥スタンドに打ち込んでください。



Aの高さ	ロールピンの位置
710mm以下	1
710～790mm	2
790～870mm	3



[4] スタンドの組付け

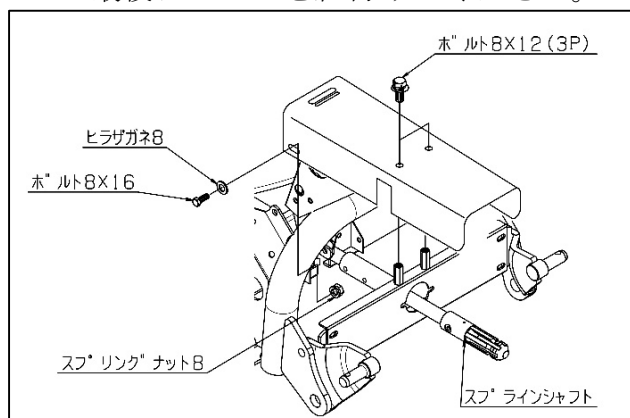
リンチピンでスタンドを組付けてください。

[5] 仮ドッキング

スプラインシャフトを手で回し、カクハンアーム、スピナーがスムーズに回ることが確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

[6] カバーの組付け

最後にカバーを組付けてください。



⚠ 注意

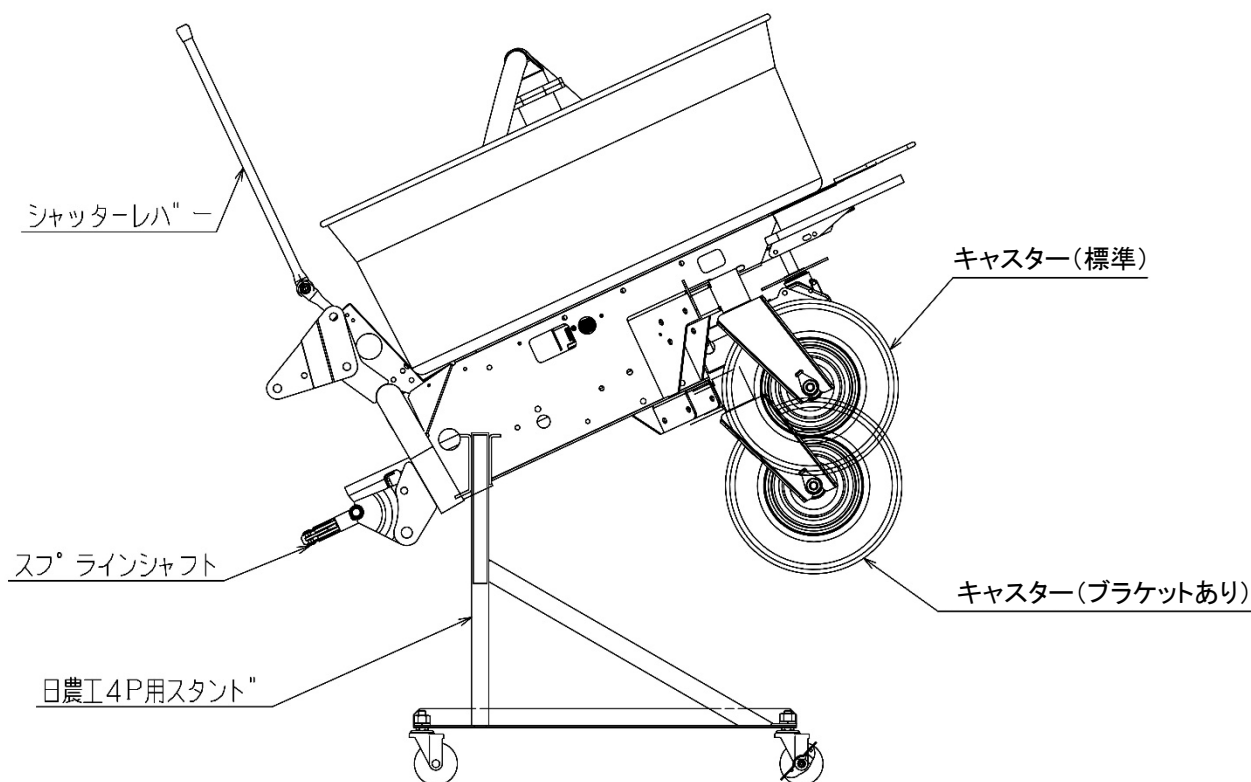
使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているかを必ず確認してください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのローワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

◆組立完成図

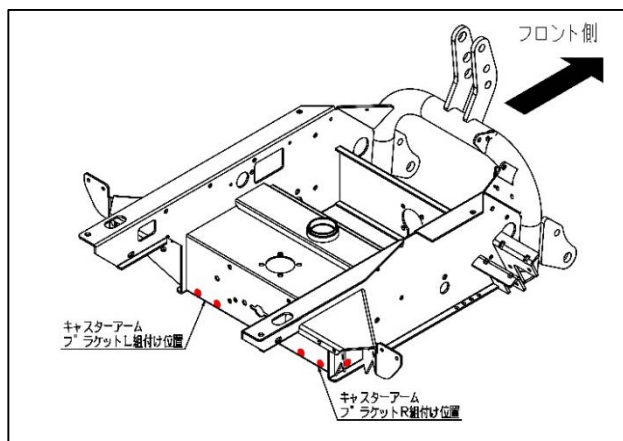
《日農工特4PオートヒッチA形》



[7] キャスターアームブラケット

L・Rの組付け

ローワーリンクを一番下に下げた際に、キャスターが地面と接しない場合は、左右のキャスターを取り外し、ブラケットを次図のように取り付けて、キャスターの位置を下げてください。



◆キャスターアームブラケットR拡大図 《左右対称》

